

2020年度第4回(一社)日本生物物理学会理事会議事録

日時:2021年2月20日(土)12:30~15:35

場所:大阪大学蛋白質研究所 会長室ほか(TV会議)

出席者: 理事総数 17 名 出席理事 14 名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	原田 慶恵	理事(副会長)	須藤 雄気
理事(副会長)	小松崎 民樹	理事	秋山 良
理事	飯野 亮太	理事	大上 雅史
理事	岡田 眞里子	理事	北尾 彰朗
理事	小島 清嗣	理事	古寺 哲幸
理事	寺川 剛	理事	細川 千絵
理事	村田 武士	理事	柳澤 実穂

監事: 監事総数 2 名 出席監事 2 名

監事	笹井 理生	監事	豊島 陽子
----	-------	----	-------

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	高橋 聡
2021年度年会委員長	
欧文誌編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	飯野 亮太(理事と兼任)
2022年度年会委員長	相沢 智康(金城 政孝 委員長の代理)
2021・2022年度理事候補	佐甲 靖志
2021・2022年度理事候補	相沢 智康
2021・2022年度理事候補	片山 耕大
2021・2022年度理事候補	田端 和仁
2021・2022年度理事候補	永井 健治
2021・2022年度理事候補	南後 恵理子
2021・2022年度理事候補	渡邊 力也
東北支部長	田中 良和
中国四国支部長	松木 均

陪席者: 学会事務局 向井 牧子

議長: 代表理事(会長) 原田 慶恵

議事録作成者: 古寺 哲幸

報告事項:資料番号

1. 2021 年度年会準備状況(高橋):報 1
 2. 2022 年度年会準備状況(相沢)
 3. 出版委員会報告(小松崎):報 3
 4. 男女共同参画・若手支援委員会報告(須藤):報 4
 5. 賞・助成金推薦委員会報告(須藤):報 5
 6. 地区報告
- その他

審議事項:

1. 2021 年度事業計画(案)(原田):議 1
2. 2021 年度予算(案)(北尾):議 2
3. 出版委員会関連議題(小松崎):議 3
4. 男女共同参画・若手支援委員会関連議題(須藤):議 4
5. BPPB 論文賞選考委員の選出(原田):議 5
6. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について(大上):議 6
7. 国際物理オリンピックからの寄付依頼について(原田):議 7
8. 日本学術会議 IUPAP 分科会との協力について(原田):議 8
9. 2021 年度総会シンポジウムについて(原田)

その他

連絡事項:

1. 次回理事会日程について(原田)

2021 年度第 5 回理事会

日時:2021 年 4 月 24 日

場所:(TV 会議)

定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・原田慶恵氏より定足数の報告があった。

理事総数 17 名のうち、出席者 14 名により過半数を超えた。

報告事項:

1. 2021 年度年会準備状況

- ・ 高橋聡氏より、2021 年度（第 59 回）の年会について準備状況が報告された。
- 準備状況
 - タスクリストに従って活動を行っている最中である旨が説明された。仙台国際センターを無料でキャンセルできるのが 5 月半ばであることが述べられた。この時点までに現地開催するか、web 開催するかということを決める必要がある旨が述べられた。
 - 現状の仙台国際センターで開催するときのルールは、
 - (A) 大声を出さないようなものであれば、100%でやって構わない。
 - (B) 大声を出すようなイベントであれば、50%の収容率。
 - というものであることが説明された。
 - ただし、静かな食事なら取っても構わないが、懇親会は開催不可。
- 企業展示会
 - (A) のカテゴリーで開催が可能である。ただし、人が密になる状況は避け、人と人の距離が約 1m 空くような工夫が必要とのこと。
- ポスター発表
 - 展示物と同じカテゴリーに入る。ただ、人が密になる状況の発生を極力避けるため、ポスター発表を行う場合は、ポスター間隔を可能な限り開ける必要がある。
 - 議論の結果、現地でのポスター発表は止め、全て口頭発表にすることになった。
- 予算について
 - 前回出した予算と全く一緒のものが示してある。全て口頭発表にした場合は、さらに 100 万円高くなる可能性がある。
- 食事について
 - 学会で食事を出さなかったために、外食に行き、そこでクラスターを作ったりすると、地元の人に迷惑がかかるし、学会への印象が悪くなることも考えられる。色々な判断材料があるとよいので、情報提供が呼びかけられた。

2. 2022 年度年会準備状況

- ・ 相沢智康氏（金城政孝実行委員長の代理）より、2022 年度（第 60 回）の年会について準備

状況が報告された。確定事項として、函館で行うこと、日程が9月27日～30日で行うことが報告された。函館会場では、一般発表はポスターでやることで考えていたが、新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの状況を考慮して、会場の変更も含めて、フレキシブルに対応していきたい旨が説明された。

3. 出版委員会報告

- ・ 小松崎氏より、出版委員会の活動状況について報告された。
- 和文誌「生物物理」について、次の7点の報告があった。
 - (1)「学会におけるダイバーシティ」という企画を作ったこと
 - (2) 今後計画している他の号(2月～5月)の内容が資料に記載されていること和文誌「生物物理」は原稿が多く集まっている状況であり、各号40ページ程度で編集されて来たが、最近では50ページ程度に増やされている状況であることが報告された。現在、受理から印刷まで半年以上かかっている場合もあり、それを克服するためには50ページをさらに増やすということも検討している旨が述べられた。
 - (3) 和文誌「生物物理」の原稿の一部をBPPBに推薦するスキームを検討していること
 - (4) トピックス原稿の新進気鋭シリーズの原稿依頼について、原稿依頼をされる段階には、“査読付き原稿が受理されている”ということを明示することとしたことが報告された。
 - (5) 編集委員会の内規を一部改訂したこと
 - (6) 主な活動と予定について報3-1に記載してあること
 - (7) 生物物理に投稿された記事に読者からの直接のコメントが書けるようなシステムの検討していること
- 欧文誌「BPPB」について
 - ・2020年は最終的にはトータルで25編が掲載された。
 - ・2021年の今年に関しては、現在2編掲載される予定となっている。早期公開については、現在5編となっている。論文の投稿を招聘しているところなので、理事会の先生方方もぜひ積極的に投稿を考えていただければという旨が依頼された。
- J-Stage Dataの状況について

J-Stage Dataへの5件の登録の現在の状況の説明があった。無償期間中に奮ってデータを掲載していただければとの依頼があった。
- その他のBPPB関連の報告について
 - (1) 学会の日本語、英語ページとBPPBのページに新規論文の早期公開と組版後の本公開が掲載される都度に、自動的にNewsの記事が掲載するしくみが2月から始まった。
 - (2) 昨年あるBPPBに投稿された論文に対して海外からクレームがついた件は、BPPBでの紙面

で経緯の説明があり、解決した模様である。

(3) BPPB のホームページのカバーアートを変更したこと。

➤ ウェブサイト編集委員会について、次の 4 つの点について報告された。

(1) この 1 月 1 日からウェブサイト編集委員長に飯野先生が、新規の編集委員に東工大の古田先生が就任した。

(2) 群馬年会の高校生発表賞の受賞者を学会ウェブサイトに掲載するプロセスを短期化できないか検討を始めたこと。

(3) 文部科学省研究振興局参事官より問い合わせがあり対応したこと。

(4) 学会ウェブサイト上の画像を第三者が使用する場合、画像の提供者と第三者の煩雑なやり取りを避けるため、正式な依頼書を作成することになったこと。

4. 男女共同参画・若手支援委員会報告

須藤雄気氏より、男女共同参画・若手支援委員会の報告が行われた。

➤ キャリア支援説明会について

講師についてアカリクと相談して、寺川氏を中心に進めているところであることが報告された。開催方法については、オンラインと対面でそれぞれいいところがあるので、ハイブリッド方式を検討している旨が報告された。できれば、年会には参加しない会員の人も説明会にオンラインで参加できるようなシステムも進めていきたい旨が説明された。

➤ 男女共同参画シンポジウムについて

男女共同参画シンポジウムに関しても、対面とオンラインのハイブリッド方式の方向で進めていきたい旨が説明された。

5. 賞・助成金推薦委員会報告

須藤雄気氏より賞・助成金推薦委員会の報告が行われた。

2021 年度山田科学振興財団研究援助についての 3 名の推薦結果について報告された。そのほかの推薦結果一覧については報 5 に記載してあることが報告された。また、第 18 回江崎玲於奈賞の候補の選定を行った。その他にも、学術振興会賞と育志賞についても、学会から推薦していきたい旨が説明された。

6. 地区報告

北海道支部…報告なし。

東北支部(田中良和氏)…3月8日に北海道支部と東北支部の合同でオンラインの支部講演会を開催する旨が説明された。

関東支部…報告なし。

中部支部(飯野亮太氏)…3月31日に中部支部講演会をオンラインで行う予定である旨が説明された。

四国・中国支部(松木均氏)…今年の支部総会は5月22~23日という予定である旨が述べられた。学会のZoomのアカウントを利用して開催予定である旨が説明された。

九州支部…報告なし。

その他:

須藤雄気氏…年会中の男女共同参画シンポジウムは、今年はワークライフバランスについて行いたい旨が説明された。何名か講師が上がっている状況であることが報告された。

原田慶恵氏…IUPABについて。ブラジルのイグアスで開催される予定であった2020の学会がコロナ禍のため延期になった。延期後の日程は、2021年10月4~8日となり、オンラインで開催されることが決定したことが報告された。

小松崎民樹氏…BPPBについて。BPPBへの投稿を促すための案として、日本物理学会の方に、宣伝の記事を出すことが、午前中の出版員会で承認された旨が報告された。また、BPPBのリビジョンの期限が近づいたら自動的に著者にアナウンスするシステムを考えていくことになった旨が説明された。

審議事項:

1. 2021 年度事業計画(案)

原田慶恵氏より、議題1の資料をもとに、2021 年事業計画書について説明があり、黄色でマークした部分が前回から変更があった点であることが説明された。新しい「サブグループ」の事業は、定款の第2章第4条の事業の項目と照らし合わせて、(3)の「研究および調査の推進」という項目が合致するため、「研究および調査の推進」という事業項目を新たに設け、そこに「サブグループ」の事業を記入したい考えが述べられた。

→承認された。

2. 2021 年度予算(案)

北尾彰朗氏より、2021 年度予算案について、議2の資料をもとに説明があった。質疑応答を経て、次回の理事会までに適宜修正されることになった。

太い枠線で囲われている列が 2021 年度の予算案。12 月の理事会からの変更点が以下のように説明された。

➤ 収益について、

・26 行のところ、賛助会員受取会費が、4 団体×3 万円で 12 万円と変更。

・31 行目のところ、機関会員受取会費が 37 件から 35 件になったために、35×12,000 円と変更。

・51 行目のところ、雑収入が今年の実績では 74 万円弱だったが、来年度は 50 万円と見込んでいること。

➤ 費用に関して

第 58 回の群馬年会の決算報告が反映されている旨が説明された。それにより、1 月 29 日付けて、3,052,744 円の余剰金を入れていただいて、現時点で収支が黒字となっている旨が説明された。

3. 出版委員会関連議題

小松崎民樹氏より、出版委員会関連議題について、議3の資料をもとに、BPPB からの審議事項について説明された。質疑応答を経て、J-STAGE Data については承認され、BPPB 論文の promotion の試みについては、費用やシステムについて調査することになった。

4. 男女共同参画・若手支援委員会関連議題

➤ 博士後期課程の学生会員を対象とした給付型奨学金制度の整備について

須藤雄気氏より、議4の資料をもとに、博士後期課程の学生会員を対象とした給付型奨学金制度の整備について説明があった。質疑応答を経て、特定の若手のみに利益があるようなしくみ（給付型奨学金制度）ではなく、広く若手に利益があるべきという考えから、若手の会に年会費を下げることに關しての考えをまとめてもらうことになった。

➤ 「サブグループ」支援制度の創設と応募について

須藤雄気氏より、資料3をもとに、「サブグループ」支援制度の創設と応募について、日本語版と英語版で会員にアナウンスして、3月31日締め切りで募集を行っていることが説明された。

5. BPPB 論文賞選考委員の選出

原田慶恵氏より、議5の資料をもとに、第10回2021年のBPPB論文賞選考委員の選出について審議し、飯野亮太先生とFlorence Tama先生に継続で、上久保裕生先生と山下敦子先生に新規で選出の依頼をすることになった。

6. 滞納3年以上の会員の除籍と会員数の推移について

大上雅史氏より、議6の資料をもとに会員数の推移と会費納入状況についての説明があり、会費を滞納している会員の名簿を閲覧し、知り合いがリストアップされていた場合は、会費の納入依頼をすることになった。

7. 国際物理オリンピックからの寄付依頼について

原田慶恵氏より、議7の資料をもとに、国際物理オリンピック 2023 協会事務局から寄付に協力して欲しいという依頼があった旨が説明され、質疑応答を経て、10万円の寄付を行った場合に団体賛助会員となり、共催に名前が載るという条件が確認できたら寄付を行う方針となった。

8. 日本学術会議 IUPAP 分科会との協力について

原田慶恵氏より、議8をもとに、日本生物物理学会と日本学術会議 IUPAP 分科会の協力について説明があり、質疑応答を経て承認された。また、IUPAP 分科会委員でもある笹井理生氏に「生物物理」誌で IUPAP の存在と活動紹介をしていただくことになった。

9. 2021 年度総会シンポジウムについて

原田慶恵氏から、総会シンポジウムの進捗具合を新会長の野地博行氏に伺う予定だったが、野地氏、代理の田端和仁氏が不在であったため、後日、原田先生から問い合わせることになった。

その他

特になし

連絡事項

原田慶恵氏より、次回理事会（2020 年度第 5 回理事会。4 月予定）について、近日中に日程調整を行う旨の連絡があった。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 15:35 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2021 年 2 月 20 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2020 年度第 4 理事会

代表理事 原田 慶恵 (印)

監事 笹井 理生 (印)

監事 豊島 陽子 (印)